

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 12 日

(宛先) 長野市長

荻原 健司様

提出者

住 所 長野市篠ノ井岡田字岡田裏1186-6

氏 名 株式会社 高和製作所

代表取締役社長 高沢和幹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-292-1095

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 株式会社 高和製作所

事業場の所在地 長野市篠ノ井岡田字岡田裏1186-6

計画期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 銑鉄鋳物製造

② 事業の規模 資本金2000万 生産量300t/月

③ 従業員数 38名

④ 産業廃棄物の一連の処理工程

鋳さい→セメント材料に再利用  
鋳さい(シェルガラ)→再生砂に再利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
鉱さい、鉱さい(廃砂:再生可能)の分別→置場管理責任者及び業者管理責任者→排出  
(製造部責任者)  
①量の把握 ②保管管理 ③マニフェストの発行

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】						
産業廃棄物の種類	鉱さい	鉱さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
排出量	835.36t	180.73t	26.70t	0.60t	1,550.00t	0.03t
産業廃棄物の種類						
排出量						
(これまでに実施した取組) セメント材料、再生砂への100%リサイクル化						
【目標】						
産業廃棄物の種類	鉱さい	鉱さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
排出量	1,000.00t	200.00t	30.00t	1.00t	1,600.00t	
産業廃棄物の種類						
排出量						
(今後実施する予定の取組) 設備更新による金属くずの発生が多く、今期も大きな工事が予定されています。 生産量増加により鉱さい量も増えたが、今期は生産量が昨年より少なくなる予測。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉱さい保管ヤードに仕切りがありフレコン回収に変更しました。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ショット砂と中子砂の更なる分別をして、廃砂の量を低減させる

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（平成 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	鉢さい	鉢さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	鉢さい	鉢さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（平成 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	鉢さい	鉢さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	鉢さい	鉢さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度(令和 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	鉱さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	鉱さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンク リート・陶磁器く	金属くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	鉱さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール金)	ガラス・コンク リート・陶磁器く ぞ(石膏ボード金)	金属くず	金属くず
	全処理委託量	835.36t	180.73t	26.70t	0.60t	1,550.00t	0.03t
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						

【目標】						
産業廃棄物の種類	鋳さい	鋳さい	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード)	金属くず	金属くず
全処理委託量	1,000.00t	200.00t	30.00t	1.00t	1,600.00t	
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	800.00t	100.00t	300.00t	5.00t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類						
全処理委託量						
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						

②計画

※事務処理欄

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計		
		鉱さい	鉱さい	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	金属くず								
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	835.36t	180.73t	26.70t	0.60t	1,550.00t	0.03t								2,593.42t
	本年度排出量(計画)	1,000.00t	200.00t	30.00t	1.00t	1,600.00t									2,831.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量		前年度実績	835.36t	180.73t	26.70t	0.60t	1,550.00t	0.03t						2,593.42t
			本年度計画(目標)	1,000.00t	200.00t	30.00t	1.00t	1,600.00t							2,831.00t
	優良認定処理業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												
	再生利用業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)	800.00t	100.00t	300.00t	5.00t								1,205.00t
	認定熱回収業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。